

令和2年度 冬期・春期 開設科目

担当講師

国語科教育法

聖徳大学兼任講師 相磯 克典

【概要】
 国語科学習指導の基本となる小学校学習指導要領に示されている、国語科の目標、学年の目標、「知識及び技能」（書写を含む）の指導事項、「思考力、判断力、表現力等」（「A話すこと・聞くこと」「B書くこと」「C読むこと」）の指導事項と言語活動例等の内容について学ぶ。また教科書教材を使い教材研究の進め方や指導計画と指導案の立案の手順、授業場面を想定した授業展開計画、発問、評価、板書計画（情報機器及び教材の活用を含む）等について具体的に学んでいく。

【教科書】
 文部科学省『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 国語編』東洋館出版社 178円

【連絡事項】
 授業内レポートを実施予定。

図画工作科教育法

聖徳大学准教授 西園 政史

【概要】
 この講座では、講義と教材研究を通して、図画工作における「見方・考え方」を理論と実践の両面から理解する。そのなかから、「主体的な学び」、「対話的な学び」、「深い学び」がどのような活動のもとに成立するのかを、受講者同士で意見交換しながら理解に結び付けていく。さらに、新学習指導要領・図画工作の特徴について、指導方法や授業の組み立てとともに理解し、題材の分析、題材の選択、指導案の作成、模擬授業、授業評価などができるようになることを目的とする。

【教科書】
 文部科学省『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 図画工作編』日本文教出版 110円

【連絡事項】
 スケッチブックまたは画用紙10枚程度（八つ切り程度）、鉛筆、クレヨン、水彩絵の具、筆、パレット（筆洗バケツは不要）、はさみ、のりを持参してください。後日提出レポートを実施予定。

【概要】

この講座では、『幼稚園教育要領解説 平成30年2月』に示されている「幼稚園教育の基本」をふまえ、領域「健康」のねらい及び内容、指導上の留意点などについて具体的に学び、小学校教育とのつながりや、領域「健康」における評価の考え方を理解する。また、幼児の心身の発育・発達や健康的な生活を営むための基礎理論を理解し、心身ともに健康な子どもを育成するための実践的知識を習得する。併せて、現代社会における幼児の生活課題について理解を深め、園や家庭、地域社会の健康を支える教師の支援の在り方について考究する。

【教科書】

文部科学省『幼稚園教育要領解説 平成30年3月』フレーベル館 264円

【連絡事項】

・持ち物 3月27日（土）3時限：はさみ、セロテープ 3月28日（日） ・授業内試験を実施予定。

【概要】

平成30年度より実施された幼稚園教育要領においては、幼稚園教育において育みたい3つの資質・能力及び「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が示された。その中には、『言葉による伝え合い』を重視し言語活動の充実を図ることが挙げられている。これらについては、幼稚園教育要領解説を用いて学んでいく。教材についても重要性が示されたことから、受講生各自が持参する絵本を通して、また、実際に言葉遊びを行うことで、実践的に学んでいく。『言葉』について学ぶ上で、言葉の機能、言葉の獲得や発達過程の理解は重要であるため、テキストを用いて学びを確認したい。言葉に関する障害の種類や指導の在り方、さらには、外国人幼児への指導の在り方や保育者の役割などについて、テキストや日々の生活の具体的な姿(事例)を提案し合い、学びを深めていく。

【教科書】

文部科学省『幼稚園教育要領解説 平成30年3月』フレーベル館 264円

塩 美佐枝・藪中 征代・東川 則子・古川 由紀子・川並 珠緒・古川 寿子著『言葉の発達を支える保育』聖徳大学出版会 1,760円

【連絡事項】

3～5歳児向けに読み聞かせをする絵本を2冊持参してください。後日提出レポートを実施予定。

【概要】

幼児の表現・鑑賞に関する基礎的な知識・理解を獲得するとともに、実技・鑑賞能力の向上を図ることを目的とし、新たな日常に向け「つながらないでつながる」をテーマに、造形的な表現活動と鑑賞活動の在り方を参加者とともに考える。造形表現においては、新しい日常に着目した造形ワークショップの手法や、活動の目的、ファシリテーターの役割等を考え、また、身近な材料を用いた題材開発の可能性を探る。鑑賞活動では、フィジカル・ディスタンスにおける対話型鑑賞を行う。

【教科書】

北沢昌代・畠山智宏・中村光絵著『子どもの造形表現 ―ワークシートで学ぶ― 第2版』開成出版 2,640円

【連絡事項】

水彩絵具(チューブ入り)、筆、パレット、筆洗バケツ、はさみ、のり、カッター、定規(30cm) デジタルカメラ(カメラ付携帯電話も可、用意出来る方のみ)。授業内試験を実施予定。

教育原理

聖徳大学准教授 森 貞美

【概要】

知識基盤社会の到来およびグローバル化の進行などの社会変化とともに教育の在り方も新たな対応が求められている。本講座では、教育の理念と目的、教育の歴史と制度について概観し、今日における教育改革の課題について考えることにする。主に教育の本質と目的、教育の歴史的変遷と思想、教育制度の基本原則と教育法規、現在の社会の変化と教育の現状、教育の課題について取り上げ、理解を深めていく予定である。

【連絡事項】

教科書は使用しません。当日、資料を配付します。授業内レポートを実施予定。

教職入門

聖徳大学教授 奥村 典子

【概要】

この授業は、教職の意義、教員の役割、教員の職務内容等に関する理解を深め、教職というものを多角的に見る目と深く問うていく姿勢を養うことを目標とする。教師という職業に求められる専門性とは何なのか。教職を考えるうえで核となる知識や概念を「教師、授業、生徒、学校」の4つのキーワードから論じていく。この授業を通じて、自身の教育観、教職への意欲や適性等を見つめ直す手がかりを得てほしい。

【連絡事項】

講座に必要な資料は、当日配付します。授業内レポートを実施予定。

【概要】

学習指導要領に記載されている「道徳教育」「特別の教科道徳」の目標、内容、指導計画及び内容の取扱い、授業の在り方などについて、基本的な考え方及び指導方法について理解することを主な目的とする。内容は、学習指導要領に示されている目標と内容、特質に基づいた指導理論を扱う。学校で即戦力として役立つ具体的・実践的な事例にも触れるとともに、参加者の経験や実践なども互いに協議し、理解を深める。

【教科書】

- ① 文部科学省『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総則編』東洋館出版社 170円
- ② 文部科学省『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 特別の教科道徳編』廣済堂あかつき 148円

【連絡事項】

所属校の「道徳教育の全体計画」と「道徳科の年間指導計画（1学年分でよい）」を持参してください。後日提出レポートを実施予定。

【概要】

学校や幼稚園の中での教育相談活動は、現在ではスクールカウンセラーなど専門家が学校や幼稚園で活躍する時代になりつつあるが、まだまだ時間的にも不足しており、十分に機能しているとは言えない。その意味で、子どもや保護者に一番近い存在である教員の教育相談活動が重要となる。今回の授業では、カウンセリングの基礎的な学習を通して、学校や幼稚園にいる子どもたちや保護者への援助について考えていくとともに、学校心理学の観点から、学校や園にいるすべての子どもたちを視野にいれた援助についても考えていきたい。講義と体験学習を通して、新しい発見をしていただければと思う。

【連絡事項】

当日、資料を配付します。授業内レポートを実施予定。

【概要】

病弱児の教育的ニーズを理解し、その教育の実際について学習する。

(1) 病弱教育の現状と仕組み (2) 病弱児の心理の理解 (3) 病弱教育の教育課程と指導の特徴
(4) 自立活動の考え方と個別の指導計画 (5) 病弱児の教育指導の工夫(Ⅰ) (6) 病弱児の教育指導の工夫(Ⅱ) (7) 個別の教育支援計画による一貫した支援
新型コロナウイルス感染症予防の観点から講義形式により実施する。

【教科書】

聖徳大学特別支援教育研究室編『改訂2版 一人ひとりのニーズに応える保育と教育—みんなで進める特別支援—』聖徳大学出版会 1,760円
(旧版をお持ちの方はそれでも結構です)

【連絡事項】

教科書の第6章を重点的に事前学習しておいてください。授業資料は当日配布します。授業内試験を実施予定。

【概要】

特別支援教育が始まり、保育現場や小・中学校の通常学級の中でも発達障害である学習障害(LD)、注意欠陥多動性障害(ADHD)、自閉症スペクトラム障害(ASD)の幼児・児童・生徒(LD等障害者)に対する合理的配慮が欠かせない。本講座では、LD等障害者についての診断基準や心理特性、支援法についての講義を行う。また、具体的なアセスメントや支援のあり方について、事例に触れることによってさらに理解を深めるとともに、LD等障害者の幼児・児童・生徒に対する教育課程及び指導の実際についても学んでいく。

【連絡事項】

教科書は使用しません。当日、資料を配付します。授業内レポートを実施予定。